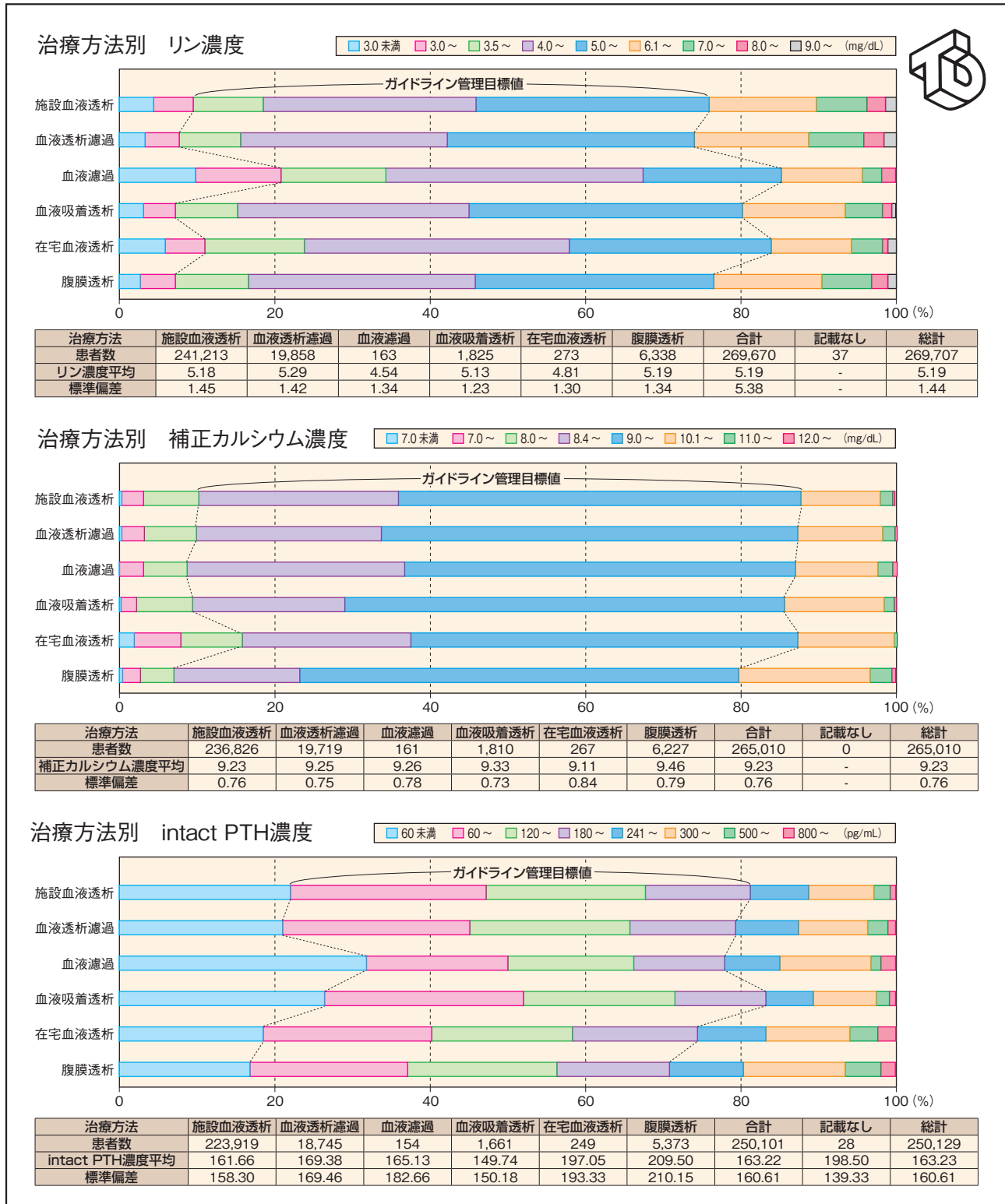


4) CKD-MBD関連

(4) 治療方法別MBD関連マーカー (図表41)



解説

集計対象：透析患者全体

2012年末における透析方法別のリン濃度、補正カルシウム濃度、intact PTH濃度の分布を示す。

血液透析濾過では、施設血液透析と比較して、リン濃度、intact PTH濃度はやや高濃度を示した。一方、腹膜透析ではリン濃度に差はないものの、施設血液透析と比較して補正カルシウム濃度およびintact PTH濃度は明らかに高い傾向を示した。在宅血液透析では施設血液透析と比較して、リン濃度、補正カルシウム濃度は明らかに低かったが、intact PTH濃度は高い傾向を示した。(患者背景の補正は行っていない)

*注：上記図表内の補正カルシウム値に関連する集計値は調査確定値に基づいている (参考：わが国の慢性透析療法の現況 (2012年12月31日現在) CD-ROM版, 日本透析医学会, 東京, 2013.)